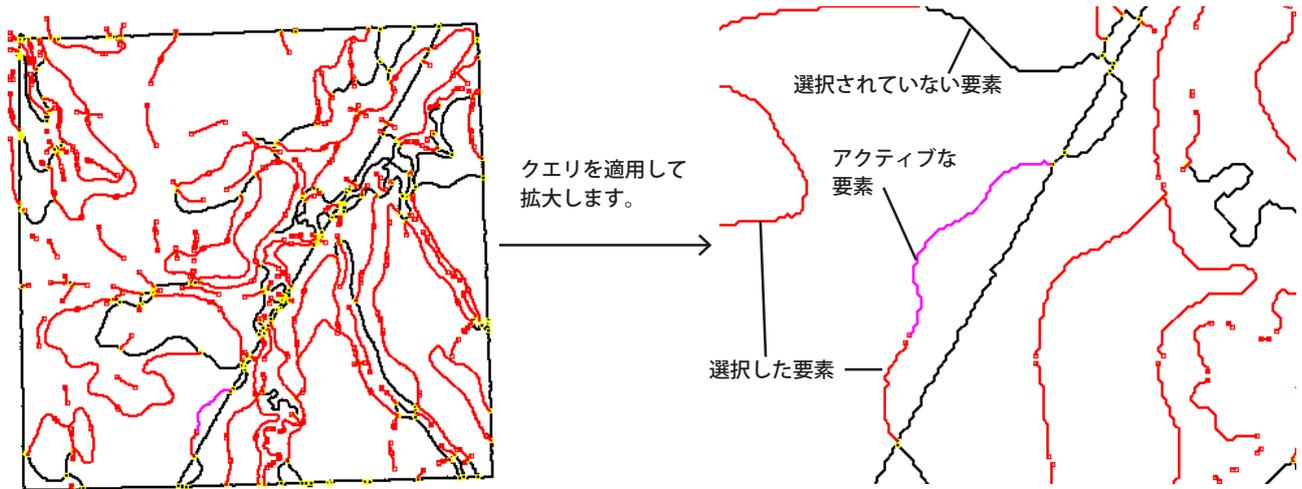


クエリによる図形検索

ご存知でしたか?... ある程度拡大表示してから、クエリを使って要素選択をすると、ボタンクリックだけで、要素間を順に移動できます。

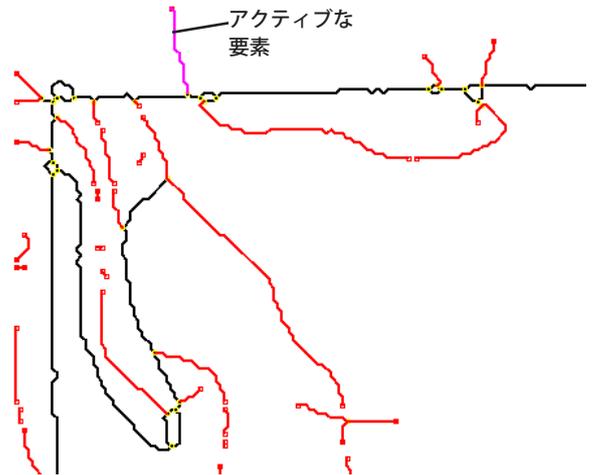
クエリを使って選択することで...

- 指示したクエリに当てはまる全エレメントを調べたり編集できます。
- クエリによって選択した要素間を順に移動できます。
- 選択した各要素に画面が自動で移動します。
- 何度も拡大縮小することなく、適度なズームレベルで作業できます。



要素を選択する前に、拡大ツールやホットキーを使ってズームレベルを選んでからクエリを適用します。あるいは、クエリを適用してから [ツール (Tools)] メニュー (V2011 では〈表示マネージャ〉のレイヤ名の右ボタンメニュー) から [単独選択 (アクティブ) 要素を拡大 (Zoom to Active Element)] を選択します。

確認や編集の後、[次の選択 (Next Selected)] をクリックします。



この図のように、TNTlite(Free) 用のデータを使っても、全体表示 (上図) では編集の決定や細かな操作はできません。クエリを適用する際拡大表示していると、最初の選択 (アクティブ) 要素に自動でパン (移動) します。

クエリを使ってパンする方法

- 作業しやすいようにズームレベルを拡大します。
- 例えばダンダリング (はみ出た) ラインを選択するクエリなどを使って要素を選択します。
- ラインのスナップなど、必要な編集作業を行います。
- アクティブ要素に編集を適用します。
- [次の選択] アイコンをクリックします。

さらに知りたいことがあれば...

以下の入門書をご覧ください：
ベクタ編集の新機能
(Advanced Vector Editing)

(翻訳) 株式会社 オープン GIS
東京都墨田区吾妻橋 1-19-14
紀伊国屋ビル 1F
Tel: (03)3623-2851
Fax: (03)3623-3025
E-mail: info@opengis.co.jp

